

光る泥だんごをつくろう！

東京農工大学 農学部 生物生産学科 土壌学研究室

泥だんごのつくり方

土を乾燥させる。



土を細かく砕く。



水を加え、ドロドロに！



瓶やカップでまん丸にする！

3～4日乾かす。

手で丸める。



瓶やカップでこする。

さらにスプーンでこする。

完成！！



泥だんごの土 ～泥だんごはどんな土からできているのかな？～

荒木田土（あらかだつち）

田んぼを掘ると出てくる、粘土を多く含んだ土。灰色で粘り気がある。

黒土（くろつち）（黒ぼく土）

畑の土。植物が分解したもの（有機物）を多く含む、火山灰からできた黒い土。

赤玉土（あかだまつち）

火山灰が風化してできた土。黄色や赤色。粘土が多い。

鹿沼土（かぬまつち）

栃木県鹿沼市を中心に分布している。火山が噴火した時にた出た軽石が風化したもの。黄色。

泥だんごの性質 ～いろいろな泥だんごの性質をくらべてみよう！～

土の種類	つくりやすさ	光り方	重さ (比重)	硬さ (泥団子を落としたとき 割れた高さ)	含まれている 水の量
荒木田土 			No.1!! (一番重い) (2.1 Mg m ⁻³)	No.1!! (一番硬い) (80 cm)	No.4 (一番水が少ない) (0.04 kg kg ⁻¹)
黒土 			No.3 (1.5 Mg m ⁻³)	No.4 (45 cm)	No.2 (0.27 kg kg ⁻¹)
赤玉土 			No.2 (1.7 Mg m ⁻³)	No.2 (57 cm)	No.1!! (一番水が多い) (0.34 kg kg ⁻¹)
鹿沼土 			No.4 (一番軽い) (1.3 Mg m ⁻³)	No.3 (47 cm)	No.3 (0.18 kg kg ⁻¹)